

令和3年度自治体国際協力促進事業（モデル事業）事業報告書等一覧

No	申請団体	事業名	対象国・地域	分野	事業内容	連携団体
1	八王子市	視察受入PR動画・冊子作成事業	—	環境	八王子市は平成29年度から令和元年度の3年間、JICA草の根技術協力事業のもと、ミクロネシア連邦チューク州においてごみ問題改善プロジェクトを実施し、発展途上国のごみ問題改善に向けて取り組んできた。同市が有するごみ減量や適正処理に関する技術及び経験を、発展途上国における廃棄物管理への支援に活かし、今後も資源循環技術協力による国際支援を継続するため、視察受入を積極的に進めていることを周知する動画や冊子、オンラインでの研修を行うための動画を作成した。 動画や冊子はインターネット上での公開により、多くの方々に向けての周知を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限等が解除された際には、積極的に視察の受け入れを行う予定である。	—
2	湯河原町	タイ国プンイトー市高齢者デイケアセンター設立支援プロジェクト(高齢者支援分野)	タイ国プンイトー市	福祉	急速に高齢化が進行しているタイにおいて、自治体を中心になって統合的な高齢化への取り組みを、バンコクの北約40km、人口約3万人の標準的な自治体であるプンイトー市が取り組んでいる。2019年12月には、タイの自治体としてはじめて本格的なデイケアセンターを設立した。スタッフの能力向上や運営にかかるノウハウを現地大学と協力のうえで取り組む。 ・コロナ禍の中での3回の現地出張、指導 ・オンラインでの研修／指導の実施 ・広報ビデオの作成により、国内外のネットワークを強化 本取り組みは、内閣府アジア健康イノベーション賞大賞を受賞し、現地自治体のネットワークによる横展開を今後も図っていく。 また、湯河原町の事業者や地域とのかかわり合いにより、地域の国際化、活性化を図る。 今後は、国際協力機構（JICA）草の根技術協力（地域活性化）での展開を予定している。	野毛坂グローバル
3	駒ヶ根市	ネパール・ボカラ市母子保健研修センターにおける指導者養成事業	ネパール連邦民主共和国 ガンダギ州ボカラ市	保健	駒ヶ根市はボカラ市と国際協力友好都市であり、2008年から市民団体「ネパール交流市民の会」と共に母子保健改善に取り組んでいる。令和3年度の本事業は、乳房ケア、および分娩期のアセスメント能力強化を行った。研修中、看護師は定型の対応はできるが、状況に合わせて判断する力が弱く、また理論からの理解が困難なことが明確となった。そこで協力機関と共に、より具体的に五感を使った方法に切り替えたところ理解が進んだ。 同時に、本事業を通じ、駒ヶ根市及び近隣地域の助産師が研修を通じて連携を深めたことも大きな成果であった。 また”こたつからできる国際協力”をキャッチフレーズに子どもからシニア層まで市民の誰もがボカラ市の母の幸福のために貢献できる民衆活動の機会を創出し、いきがいの創出や、SDGsへの関心を高めた。	ネパール交流市民の会、長野県看護大学、菜の花マタニティクリニック、おひさま助産院、幸助産院
4	広島県	ひろしまカンボジア交流センター整備事業～交流から協力へ、協力から相互貢献へと発展させる平和拠点の形成～	カンボジア王国 プノンベン特別市シエムリアップ州	国際協力	広島県がこれまでの支援活動で構築した人材ネットワークと蓄積されたノウハウを活用し、広島とカンボジア間の双方向の交流・協力関係を発展させる拠点として、「ひろしまカンボジア交流センター（仮称）」を整備した。 また、孤児や貧困層の子ども達に対する日本語・英語教育の実施のほか、併設した農園での野菜・果樹栽培や養鶏等の技能訓練、広島等からの農業体験のスタディツアー受け入れ、カンボジア留学生、就労者への情報発信機能等を想定する。 ・ひろしまハウスの管理を地元に移管し、貧困層の子どもたちの就学支援等を地元の関係者や行政団体等の協力も得る形で実施する。 ・広島大学による健診、健康教育を現地小学校、教員養成校及び孤児院で実施し、情操教育の取組も併せて行う。	NGOひろしま、広島大学、カンボジア市民交流会、NGO WDA、NGO APSARA、AHC、カンボジア観光省
5	神石高原町	紛争被災影響地域での有機農業普及のための人材育成事業(農業) ＝スリランカ東部 紛争被災した避難農家の再定住地域＝	スリランカ民主社会主義共和国	農業	神石高原町と同町内に本部を置くNPO法人ピースウィンズ・ジャパン（以下PWJ）が連携し、スリランカでPWJが支援を行っている内戦の影響を受けた再定住地域において、農業普及員および農家等（モデルファームスタッフを含む）を対象に、町内で有機農業を実践している有機農業農家（TANABE FARM他）にてオンラインによる研修を行った。 オンラインによる研修は計7回開催した。うち5回はTANABE FARMの田邊真三氏による有機農業技術に特化したオンライン研修、1回は神石高原町内の広島県立油木高校の農業に関する取り組みを紹介、また1回はスリランカで活用できる農機具についてのオンライン研修を行った。なお、油木高校では、農業を専攻する高校生たちが主体となって参加し、国際理解教育の機会とした。	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

※建制順に記載